

令和4年度
事業概要
Business Overview

JAPANESE RED CROSS AICHI BLOOD CENTER



愛知県赤十字血液センター

日本赤十字社

ごあいさつ



愛知県の血液事業につきましては、平素より県民の皆様はじめ、愛知県、市町村、各献血協力団体および医療機関など関係各位のご支援とご協力に対して厚く御礼申し上げます。この度、愛知県赤十字血液センターの令和4年度事業概要を取りまとめましたので、ご報告申し上げます。

令和4年度の献血については、新型コロナウイルス感染症の影響が引き続きみられたものの、愛知県内では延べ298,290人の方々にご協力いただきました。ひとえに県民をはじめとする多くの皆様による献血へのご理解とご協力の賜物と存じます。献血を支えていただいている皆様にご場をお借りして厚く御礼申し上げます。

輸血用血液製剤の供給量については、愛知県赤十字血液センターから医療機関への総供給単位数872,735単位と、令和3年度と比較して31,954単位の減少となりました。一方、血液を原料として製造される血漿分画製剤のうち、免疫グロブリン製剤の需要は近年増加傾向が続いており、その原料となる原料血漿の確保が重要な責務となっています。血液製剤や血漿分画製剤を必要とする患者さんのために、献血による血液は過不足なく安定的に確保していく必要があります。引き続き必要とされる血液の安定的な確保に努めてまいります。

現在、日本は少子高齢化社会を迎え、献血可能人口は減少しつつあります。将来にわたって血液事業を安定的に維持していくためには、将来の献血基盤を支えていただく若い方々に献血の重要性について理解を求めていく必要があります。このため、愛知県・市町村と連携しながら、献血運動の一層の推進を図るため、平成29年度から開始した「卒業献血キャンペーン」や「10代夏の献血キャンペーン」など10代・20代の若い方々を対象とした啓発活動を継続しております。コロナ禍により若年層の献血率が減少したものの、徐々にではありますがコロナ禍以前の水準に戻りつつあります。また、令和4年度は、対面での施設見学や献血セミナー、親子血液教室の開催や学生献血連盟によるイベント等を再開し、多くの方々にご参加いただきました。今後もさらに献血啓発活動を推進し、若い世代の方々をはじめとした県民の皆様へ広く献血を知っていただけるよう取り組んでまいります。

愛知県赤十字血液センターでは、これからも安心安全な献血会場を運営して献血を推進するとともに、安全な血液を安定的に患者さんへお届けするように努めていく所存です。今後とも皆様方により一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年8月

愛知県赤十字血液センター
所長 木下朝博

1 概要

Outline

2	事業内容	Main Activities
3	血液事業のながれ	Flow of Blood Services
4	血液のゆくえ	Flow of Blood Products
5	血液センターの業務	Blood Center Operations
6	施設	Facilities
	採血	Blood Collection
8	看護師の職場紹介	Nurse's Workplace Introduction
9	看護師の仕事内容	Work Contents of the Nurse
10	現役看護師に聞いてみた働き方	
	供給	Distribution
12	供給業務	Distribution Operations
12	広域需給体制に伴う県境を越える供給	Wide-area Supply and Demand Regime
13	令和4年度 供給実績	Supply Results
14	令和4年度 医薬情報活動	Medical Information
15	骨髄バンク事業	Marrow Donor Program
16	広報トピックス	Public Relations
18	献血Web会員サービス「ラブブラッド」	Blood donation web membership service

2 コロナ禍における対応

COVID-19

19

3 組織

Organization

20	組織機構図	Organization Chart
21	愛知県赤十字血液センター	Japanese Red Cross Aichi Blood Center
21	愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所	Japanese Red Cross Aichi Blood Center Toyohashi Branch

4 活動実績

Actual Result

22	沿革	History
26	献血功労表彰	Recognition

5 統計資料

Statistical Data

28	献血種別の推移	Blood Donation Type of Transition
28	性別及び年代別	Transition by Age
29	献血種別献血者数	Blood Donation Type Number of Blood Donors
29	年代別献血者数	Donations by Age Group
30	献血ルーム&献血バス・オープン献血の割合	Blood Donation Room & Bloodmobile Open Blood Donation Percentage
30	施設別採血種別献血者数の推移	Changes in the Number of Blood Donors by Site
31	献血ルーム別献血者数	Number of Blood Donors by Blood Donation Rooms
32	献血ルーム別年代別献血者数	Number of Blood Donors by Age
33	供給状況	Number of Distribution of Blood Products

1 概要

Outline

日本赤十字社が取り組む血液事業において、献血を推進し、輸血用血液の安定確保と供給などを行い、人命尊重に向けて多様な事業を展開しています。

血液を通して、人と人とを結んでいます

血液センターでは、現代医療に欠かせない輸血用血液製剤の供給をはじめ、血液に関するさまざまな事業を行っています。

血液を通して大切な命を守り、人と人とを結ぶ架け橋として日夜努めています。

事業内容 Main Activities

目的と基本理念 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律（抜粋）（令和2年9月1日改正）

総則（目的） 第一条 この法律は、血液製剤の安全性の向上、安定供給の確保及び適正な使用の推進のために必要な措置を講ずるとともに、人の血液の利用の適正及び献血者等の保護を図るために必要な規制を行うことにより、国民の保健衛生の向上に資することを目的とする。

（基本理念） 第三条 血液製剤は、その原料である血液の特性にかんがみ、その安全性の向上に常に配慮して、製造され、供給され、又は使用されなければならない。

- 血液製剤は、国内自給（国内で使用される血液製剤が原則として国内で行われる献血により得られた血液を原料として製造されることをいう。以下に同じ。）が、確保されることを基本とするとともに、安定的に供給されるようにしなければならない。
- 血液製剤は、献血により得られる血液を原料とする貴重なものであること、及びその原料である血液の特性にかんがみ、適正に使用されなければならない。
- 国、地方公共団体その他の関係者は、この法律に基づく施策の策定及び実施に当たっては、公正の確保及び透明性の向上が図られるよう努めなければならない。

業務

- ・献血者の確保及び献血の受入れ
- ・血液製剤の供給

関連事業

- ・骨髄バンク事業
- ・さい帯血バンク事業

血液事業のながれ Flow of Blood Services

献血いただいた血液は、血液を必要とする患者さんが安心して輸血を受けられるよう安全性確保のための検査を行った後、いくつかの工程を経て、輸血用血液製剤として生まれ変わります。

私たちは安全性の高い輸血用血液製剤を医療機関に安定供給するために、24時間体制で医療を支えています。



献血バス

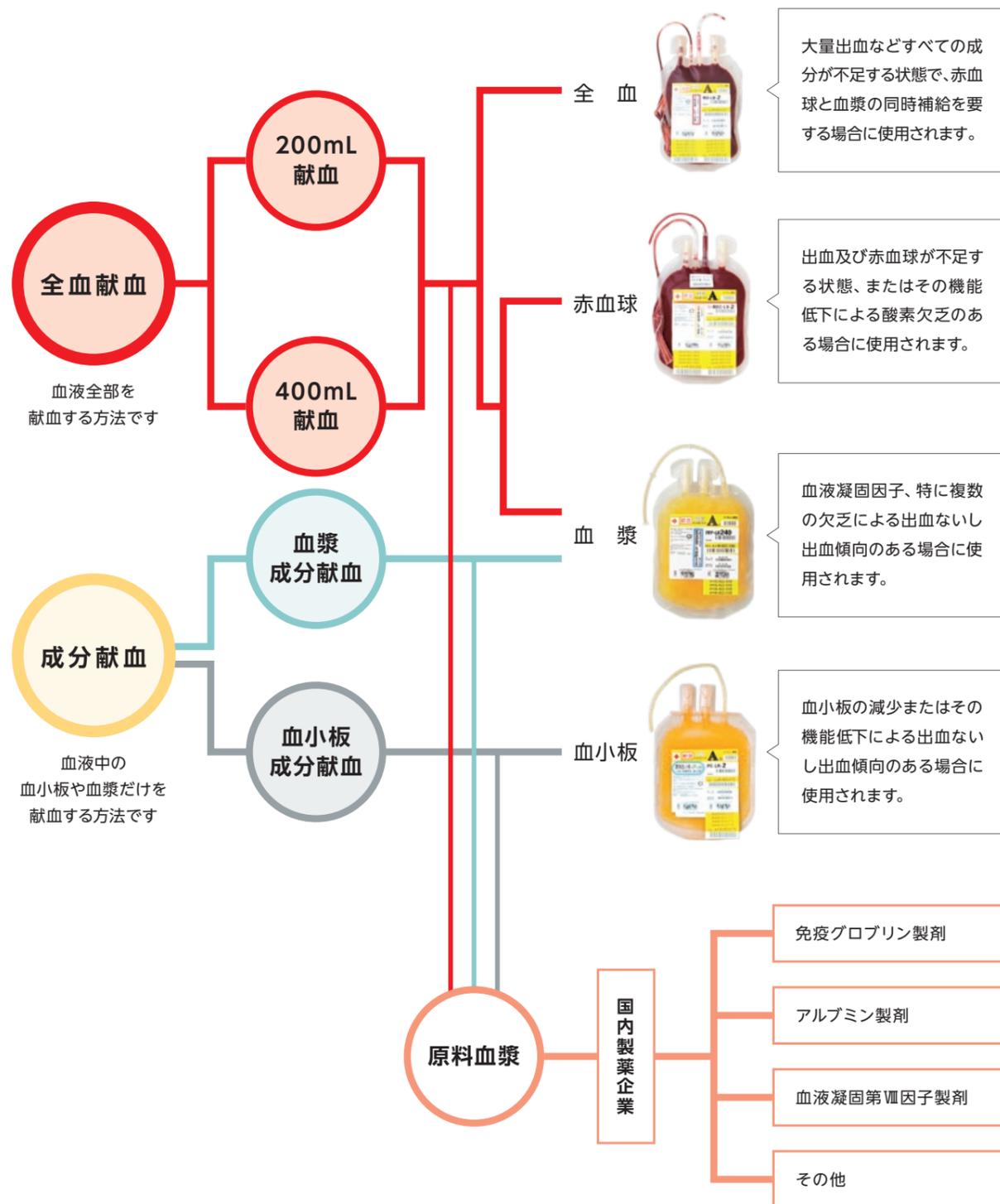


医療機関からの要請を受け、年中無休24時間体制で迅速に供給しています。

みなさまの善意に、よりお応えするために

献血していただいた血液は、輸血用血液製剤として医療に使われています。
血液を必要としている患者さんにとって、安全性の高い血液を安定的にお届けするためには、健康なみなさまによる献血のご協力が必要です。

血液のゆくえ Flow of Blood Products



血液センターの業務 Blood Center Operations

愛知県内の様々な場所で献血バスを通じて、多くの方々に献血のお願いをしています。
また、駅周辺や商店街など、交通の便のよい場所に献血ルームを設け、献血いただく方が快適で安心して献血ができる環境を整えています。

献血バス Bloodmobile

献血バスは愛知県赤十字血液センター（瀬戸市）と豊橋事業所（豊橋市）に配置した献血バスを職場や地域の献血会場へ配車しています。また、献血にご協力いただいている団体の一部施設を利用して行う、オープン献血も実施しています。献血バス1台に4ベッドありますが、オープン献血の場合は会場のスペースによって4～16ベッド設置して採血をします。



献血バス



オープン献血

献血ルーム Blood Donation Room

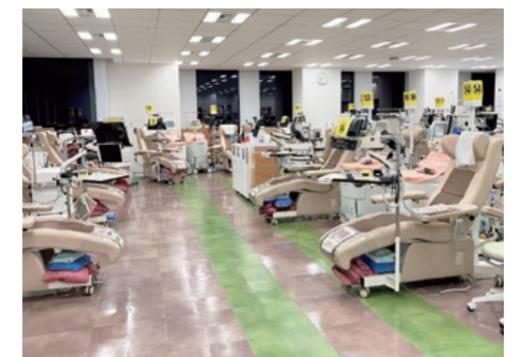
血液センターをはじめ豊橋事業所並びに県内7か所に献血ルームがあります。



受付（献血ルーム タワーズ 20）



問診室（献血ルーム フォレスト）



採血室（献血ルーム ゲートタワー 26）

献血はお近くの施設でお気軽に

愛知県内の献血施設9か所は、どの施設も交通アクセス、周辺環境に恵まれています。

献血はあなたの街の最寄りの施設へお気軽にお越しください。最新の情報は、ホームページでご確認ください。

施設 Facilities (令和5年3月31日現在)

献血ルーム フォレスト
(則武新町出張所)

献血ルーム タワーズ20
(名古屋駅前出張所)

献血ルーム ゲートタワー26
(名古屋駅前出張所)

愛知県赤十字血液センター



愛知県赤十字血液センター

〒489-8555 瀬戸市南山口町539番地3
TEL 0561-84-1131

[定休日]
日曜日、祝日、12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血
9:00~12:00 / 13:00~16:45
成分献血
9:00~11:00 / 13:00~16:00



ベッド数：6床
開設日：S62.3

大須万松寺
献血ルーム
(大須出張所)

栄献血ルーム
(栄出張所)

岡崎献血ルーム
(岡崎出張所)

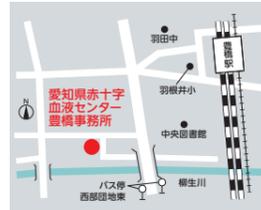
愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所

愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所

〒441-8083 豊橋市東脇三丁目4番地1
TEL 0532-32-1331

[定休日]
日曜日、祝日、12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血
9:00~12:00 / 13:00~16:45
成分献血
9:00~11:00 / 13:00~16:00



ベッド数：9床
開設日：H2.3

献血ルーム フォレスト

〒451-0051 名古屋市西区則武新町三丁目1番17号
イオンモール Nagoya Noritake Garden 3階
TEL 052-462-8090

[定休日]
12/29 ~1/3

[献血受付時間]
成分献血
10:00~17:00



ベッド数：10床
面積：407.14㎡
開設日：R3.10

献血ルーム タワーズ20

〒450-6020 名古屋市中村区名駅一丁目1番4号
JRセントラルタワーズ20階
TEL 052-571-1002

[定休日]
12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血 10:00~17:45
成分献血 10:00~17:00



ベッド数：28床 面積：951.84㎡
開設日：H23.10

献血ルーム ゲートタワー26

〒450-6626 名古屋市中村区名駅一丁目1番3号
JRゲートタワー26階
TEL 052-589-2229

[定休日]
12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血 11:00~18:45
成分献血 11:00~18:00



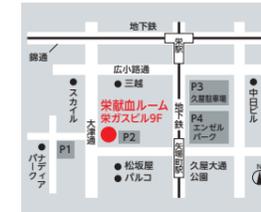
ベッド数：18床 面積：525.72㎡
開設日：H29.4

栄献血ルーム

〒460-0008 名古屋市中区栄3-15-33 栄ガスビル9F
TEL 052-242-7030

[定休日]
12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血
10:00~17:45
成分献血
10:00~17:00



ベッド数：18床
面積：447㎡
開設日：H2.6

大須万松寺献血ルーム

〒460-0011 名古屋市中区大須3-30-40 万松寺ビル1F
TEL 052-251-7161

[定休日] 12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血
11:00~13:00 / 14:00~18:45
(土・日・祝日) 11:00~18:45
成分献血(平日のみ)
11:00~12:00 / 14:00~18:00



ベッド数：5床
面積：179.76㎡
開設日：H18.10

豊田献血ルーム

〒471-0026 豊田市若宮町1-57-1 T-FACE A館9F
TEL 0565-35-4480

[定休日]
火曜日、12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血
10:00~13:00 / 14:00~17:45
成分献血
10:00~12:00 / 14:00~17:00



ベッド数：10床
面積：246.095㎡
開設日：H9.4

岡崎献血ルーム

〒444-0864 岡崎市明大寺町寺東1-1 名鉄東岡崎駅南館5F
TEL 0564-52-1800

[定休日]
金曜日、12/29 ~1/3

[献血受付時間]
400mL・200mL 献血
10:00~13:00 / 14:00~17:45
成分献血
10:00~12:00 / 14:00~17:00



ベッド数：9床
面積：263.56㎡
開設日：H15.5

採血

Blood Collection

輸血用血液の確保は、血液センターが担っており、中でも採血に携わる看護師は欠かすことができない存在です。血液事業における看護師は、病気やけがの治療のため輸血や血液製剤を必要とする人たちのため、健康な方々から安全に血液を採取し、提供していただいた血液の品質を確保するという重要な役割を担っています。多くの方々と短い時間ではありますが、採血を通してふれ合い、人の「優しさ」や「温かさ」を感じることができます。血液センターでは、看護の基礎的知識から専門的知識、技術を高めるため教育訓練の充実を図り、仕事にやりがいを持ち、楽しみながら働き続けられる職場作りを目指しています。

看護師の職場紹介 Nurse's Workplace Introduction

献血は主に献血ルームと献血バスで受け付けています。

献血バス

瀬戸市と豊橋市を拠点に、毎日6～8台の献血バスが愛知県内の事業所や学校、ショッピングモールなど様々な場所へ出向き、採血を行っています。献血に必要な器材を車内に搭載し、健診医師、看護師、受付職員とチームを組んで業務します。



献血ルーム

愛知県内9か所にある献血ルームでは、主に成分献血にご協力いただく献血者を受け入れています。都市部を中心に主要駅に近い場所にありながら、穏やかで落ち着いた空間を求めて、多くの献血者が訪れます。



看護師の仕事内容 Work Contents of the Nurse

看護師の業務内容は「採血前検査」、「採血」、「搬送」「資材管理」などが主となります。

1 採血前検査

献血者の健康状態、血液データを確認し献血が可能か判断します。



本採血前の事前検査で少量の血液を採取します。
成分献血は腕の血管（静脈）から、全血献血は指先から採取します。



採取した血液を機械にセットし、データを確認します。

2 採血

機械に回路のセットをします。献血者に穿刺をし輸血用血液の採血をします。また、献血に際しての注意事項などを説明します。



本採血の穿刺の様子

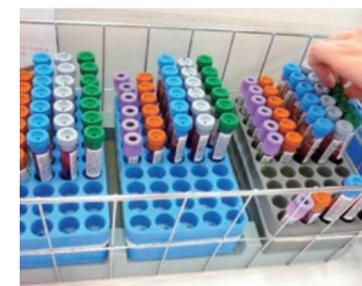


成分献血の機械

全血献血の機械

3 搬送

採血後、血液を適切な温度で管理し、製造部門へ引き継ぎます。



検体にはラベルを貼り、献血者ごとに管理します。1日数便に分けて検査部門に送ります。



献血いただいた血液は、適切な温度で保管するため、搬送用バッグに梱包し、1日数便に分けて製造部門に送ります。

4 資材管理

その他、使用する資材の受け入れ試験、保管管理等も行います。



どう働いているの?

現役看護師に聞いてみた働き方



献血ルーム勤務
若手看護師
Aさん



献血時に見た採血業務セミナーのポスターに興味を持ち、セミナーに参加しました。業務内容はもちろん、給与や残業についても資料を使ってお話してくれ、また職員の雰囲気がとても明るいと感じたため、その後施設見学も希望しました。施設見学では、希望する施設での勤務体制を見せていただいたり、気になっていた「早出や残業」等の具体的な内容を教えてもらうことができ、ほとんど不安なく面接を申し込むことができました。就職して最初の頃は覚える事が山ほどあって、とてもつらい時期もありましたが、先輩たちが根気よく教え続けてくれ、とても感謝しています。移動バス業務は朝が早く大変なこともあります。多くの採血をこなすための工夫や、ドナーさんが安全安楽に過ごせるための努力をすることが日々の勉強につながり、とても充実した毎日を送っています。

献血ルーム勤務
若手看護師
Bさん



夜勤がないので家事と仕事の両立ができ、プライベートが充実しました。穿刺に不安があるときは先輩看護師に相談できます。ブランクがあり復職可能か心配でしたが丁寧に指導してもらえました。

献血ルーム勤務
男性看護師
Cさん



業務の中で男性目線の考えや取り組みを行っています。採血業務は奥が深いので、技術を極めたい方や探究心のある方にお勧めです。サポートもしっかりしていますので、安心できると思います。年に一度の学会発表もあり、勉強好きな方も力を発揮できます。



日勤のみの ローテーション勤務です! 夜勤がありません



- 夜勤や遅番などが無く時間変動が無いので、身体が楽になりました。夜勤が無いのは本当に大きく心に余裕ができました。
- 病棟やクリニックと比べ残業時間が少なく、プライベートな時間が充実しています。

子育て世代も 頑張っています! (出勤時間は施設により異なります)



- 身体が楽になり家事への支障が少なくて、出勤時間が遅いので朝に家事もできます。子供を学校に見送ってからの出勤が可能です。
- 子供の学校行事があるときは希望を出して休みをもらい、学校の役員もしました。

患者さんではなく 献血者との 関わりです



- 対象が健康な方で、幅広い年齢層の方と接することができるため、学ぶことも多く楽しいです。
- 患者さんではないので「ありがとうございます」と言えることが嬉しいです。
- 穿刺メインではありますが、そのほかの仕事や献血者との会話・ケア等で10年間飽きることなく毎日楽しく仕事できています。
- 病院での処置や仕事が自分に向いていないと思った人も、仕事内容が全く異なるので心配ないです。

穿刺技術は 向上します



- 血液センターの前は別の施設にいて、採血の機会はあまりありませんでした。採血は得意ではなかったのですが毎日の採血でコツをつかめ、採血について前向きになれました。数をこなす経験を増やせば心配ないですよ。
- 献血用の注射針に、最初は戸惑うこともありますが、先輩方がやさしく指導してくれるので安心して採血できます。

新人教育は 採血マニュアルに準じて 指導しています



- 教育担当の先輩がついてくれるので、何でも聞きやすいです。業務を丁寧にサポートしてもらえました。
- 採血業務はマニュアルが整っているので、統一した手順で分かりやすいです。仕事を覚えてしまえば気持ちに余裕ができます。

患者様と献血者の方々の 架け橋になり仕事に 誇りを持っています。



- 血液センターの仕事は輸血用血液製剤の原料となる採血業務です。病院で患者さんが輸血用として使用されていることを思うと「社会貢献ができている」と感じ、やりがいがあります。日々の献血者の方との会話も楽しいですよ。
- 献血業務ができるのは血液センターだけです。輸血によって多くの命が救われています。その一端を担っている誇りと責任を持って仕事をしています。



供給

Distribution

輸血用血液製剤の安定的な供給に努めています

供給業務

Distribution Operations

愛知県赤十字血液センター及び豊橋事業所の2供給施設において、輸血用血液製剤を製剤毎に定められた温度や方法にて適切に保管・管理し、医療機関からの要請に対して365日24時間体制で輸血用血液製剤を供給しています。



①

受注業務

24時間体制で医療機関から受注をしています。現在は、WEB発注システムによる受注が主力となっています。



②

出庫業務・外観確認

血液製剤に異常がないか最終チェックをします。



③

梱包作業

納品伝票と血液製剤の製造番号などの確認と血液製剤ごとの製品温度に適した状態で梱包します。



④

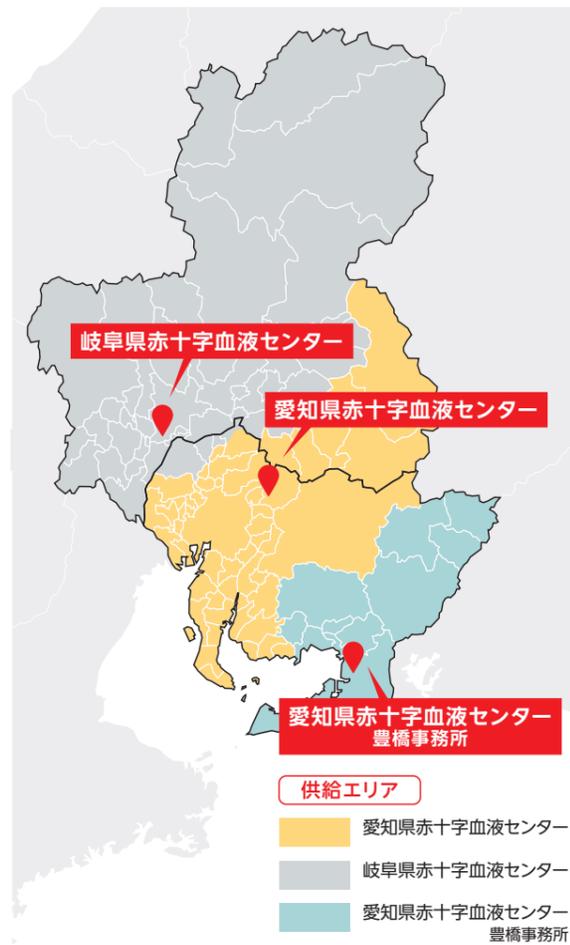
搬送

愛知県赤十字血液センター管内で輸血を行う医療機関は約350機関。医療機関から「緊急」の要請があれば緊急走行で運びます。

広域需給体制に伴う県境を越える供給

Wide-area Supply and Demand Regime

平成24年4月1日より広域事業運営へ移行し、東海北陸ブロック血液センターが設置されました。それに伴い、供給エリア設定の検討調査を行い、平成25年4月1日より西尾張地域の一部（一宮市・江南市・扶桑町・犬山市北部）を岐阜県赤十字血液センターから、東濃地域（多治見市・土岐市・瑞浪市・恵那市・中津川市）を愛知県赤十字血液センターから、供給を行うことに変更しました。これにより、対象地域の医療機関への血液製剤配送時間の短縮が可能となりました。

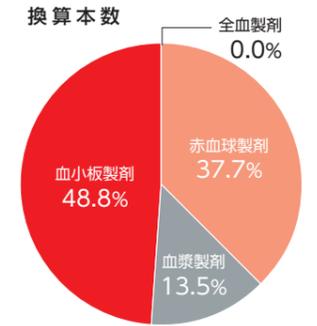
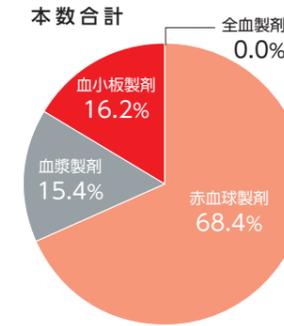


令和4年度 供給実績 Supply Results

愛知県内の供給実績

	本数合計	換算本数 [単位: 200mL換算]
全血製剤	0	0
赤血球製剤	176,206	344,684
血漿製剤	39,578	123,849
血小板製剤	41,800	446,015
合計	257,584	914,548

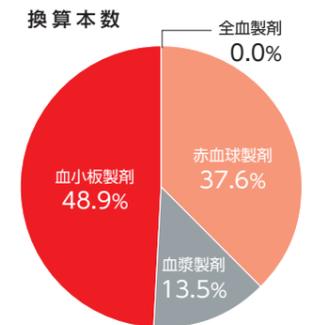
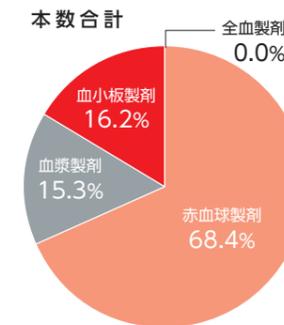
(単位: 本)



愛知県赤十字血液センターからの供給実績

	本数合計	換算本数 [単位: 200mL換算]
全血製剤	0	0
赤血球製剤	167,565	328,087
血漿製剤	37,528	117,873
血小板製剤	39,720	426,775
合計	244,813	872,735

(単位: 本)



- 単位換算数: 赤血球製剤は200mL献血由来を1単位、40mL献血由来を2単位として換算したもの。
- 血漿製剤は200mL献血由来を1単位、400mL献血由来を2単位、成分献血由来を4単位として換算したもの。
- 血小板製剤は規格により、1単位、2単位、5単位、10単位、15単位、20単位として換算したもの。

(注) 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない。

新たな血液製剤発注システムについて

従来の血液製剤発注方法である電話・FAXに代わる新たな方法としてインターネットで受発注する血液製剤発注システム（WEB発注システム）の導入を推進してきました。令和6年4月1日からは、WEB発注への全面移行を予定しています。



★ 受発注時の過誤防止

電話での聞き間違いや、手書きや手入力による過誤などの防止に役立ちます。

★ 操作が4STEPで簡単

製剤選択⇒備考・抗原情報入力⇒納品日時・お届け先入力⇒発注確定

★ 8明細まとめて発注

赤血球、血漿、血小板など異なる製剤でも、抗原や備考入力も可能。

★ 発注情報等のシステム管理が可能

医療機関での発注履歴やお届けした輸血用血液製剤情報等がシステムに保存され、ファイル抽出（CSVファイル）による閲覧が可能。



(1) 医療機関への情報提供

輸血用血液製剤に関する情報提供について、下表のとおり情報媒体を愛知県赤十字血液センター供給管内医療機関へ配付しました。また、輸血管理部門担当者や医師・看護師等を対象とした説明会を行い、情報提供しました。

お知らせ

発行年月	内容
令和4年6月	血液製剤等にかかる遡及調査ガイドラインの一部改正について (E型肝炎ウイルスの遡及調査について)
令和4年12月	(照射)赤血球液-LR「日赤」の有効期間変更のお知らせ
令和4年12月	(照射)赤血球液-LR「日赤」の注意事項等情報改訂のお知らせ
令和5年1月	(照射)赤血球液-LR「日赤」の有効期間変更に伴う影響 —輸血管理システムにおいてマスタ変更が必要な場合の注意点—

輸血情報

発行年月	内容
令和4年4月	輸血用血液製剤の診療報酬及び薬価・医薬品コード・レセプト電算コード等について -令和4年4月現在-
令和4年8月	輸血用血液製剤との関連性が高いと考えられた感染症症例 -2021年-
令和4年8月	赤十字血液センターに報告された非溶血性輸血副作用 -2021年-
令和4年12月	血小板製剤の輸血による細菌感染症が疑われた事例について
令和5年3月	輸血用血液製剤の取り扱いについて

(2) 輸血副作用の情報収集

23施設 50件

(3) 遡及調査の実施

複数回献血者の感染症マーカーの陽転化 324件 / 献血後情報 84件

(4) 輸血業務担当者連絡会の開催

開催年月日	内容
令和4年9月3日 (オンライン開催)	「転院時の診療情報(輸血情報)の共有について」(シンポジウム) [学術情報・供給課 供給係からの連絡事項] [学術情報・供給課 学術係からの情報提供]
令和5年1月15日 (オンライン開催)	「輸血における看護師の立場から」(シンポジウム) [学術情報・供給課 供給係からの連絡事項] [学術情報・供給課 学術係からの情報提供]

(5) 医療機関での説明会の実施

- ・血液製剤の取り扱い / 輸血副作用 / 輸血過誤について …… 21回
- ・自己血輸血について …… 1回
- ・血液製剤発注システムの操作説明 …… 5回
- ・説明会用DVDの貸与 …… 13件



(6) その他の活動

- 大学生、専門学校生への講義(輸血関連)
- ・大学(臨床検査技師・看護師・養護教諭) …… 2校
 - ・専門学校(臨床工学士) …… 1校

骨髄バンク事業 Marrow Donor Program

骨髄バンク事業は、国(=厚生労働省)主導のもと、日本骨髄バンクが主体となり、日本赤十字社および地方自治体の協力により行われている公的事業です。日本骨髄バンクは骨髄移植・末梢血幹細胞移植のコーディネート等を行い、日本赤十字社は造血幹細胞提供支援機関として、ドナー登録及びHLA検査等を行っています。都道府県・保健所を設置する市・特別区は保健所を窓口として協力体制をとっています。



令和2年～令和4年度 骨髄バンク登録者数

令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
1,391人	1,031人	806人	3,228人

愛知県内の骨髄提供希望者登録状況の推移



骨髄提供希望者登録状況

愛知県 21,220人(令和5年3月31日現在)

愛知県の骨髄ドナー登録受付施設

(令和5年3月31日現在)

名称	電話番号	受付時間
愛知県赤十字血液センター	0561-85-2037	月～土(祝日・12/29～1/3を除く) 9:00～11:00、13:30～16:00
愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所	0532-32-1331	月～土(祝日・12/29～1/3を除く) 9:00～11:00、13:30～16:00
献血ルーム タワーズ 20	052-571-1002	年中無休(12/29～1/3を除く) 10:00～17:00
献血ルーム ゲートタワー 26	052-589-2229	年中無休(12/29～1/3を除く) 11:00～18:00
献血ルーム フォレスト	052-462-8090	年中無休(12/29～1/3を除く) 10:00～17:00
栄献血ルーム	052-242-7030	年中無休(12/29～1/3を除く) 10:00～17:00
大須万松寺献血ルーム	052-251-7161	年中無休(12/29～1/3を除く) 11:00～12:00、14:30～18:00
豊田献血ルーム	0565-35-4480	水～月(12/29～1/3を除く) 10:00～12:00、14:30～17:00
岡崎献血ルーム	0564-52-1800	土～木(12/29～1/3を除く) 10:00～12:00、14:30～17:00
清須保健所	052-401-2100	水 13:00～15:00(予約制) (祝日、年末年始を除く)※
春日井保健所	0568-31-2189	火 9:00～11:00(予約制) (祝日、年末年始を除く)※
半田保健所	0569-21-3342	水 13:00～15:00(予約制) (祝日、年末年始を除く)※
衣浦東部保健所	0566-21-4797	火 9:00～11:00(予約制) (祝日、年末年始を除く)※
豊川保健所	0533-86-3177	火 9:00～11:00(予約制) (祝日、年末年始を除く)※

※その他、施設都合による休止日あり

ひとりでも多くの方に、献血が身近になるように

血液センターでは、広く献血にご協力いただくことと、血液事業について多くの人にご理解いただくことを目的に、さまざまな広報活動を展開しています。

広報トピックス Public Relations

施設見学・献血セミナー・職場体験

新型コロナウイルス感染症の影響から休止していた施設見学・対面での献血セミナーを、基本的な感染防止策の徹底により再開しました。見学再開後は、小学生をはじめとした学生や赤十字奉仕団、地域自治会など幅広い年齢層の方々のご来訪されました。施設見学では主に供給部門と、東海北陸ブロック血液センター内の検査・製剤部門を巡り、普段は入れない輸血用血液製剤の保管庫内や、輸血用血液製剤が作られる様子をご覧いただきました。献血セミナーでは、高校生をはじめ多くの学生の方へ血液の役割や献血の必要性を説明し、献血を通して命の大切さ、助けあいの大切さを伝えるための講義を実施しました。中高生を対象に受入した職場体験では、赤十字と血液事業に関する講義の受講や、献血協力をお願いする街頭での呼びかけ体験、採血業務に従事する看護師や事務職員へのインタビューを通じて、献血の意義と現状について理解を深めていただきました。



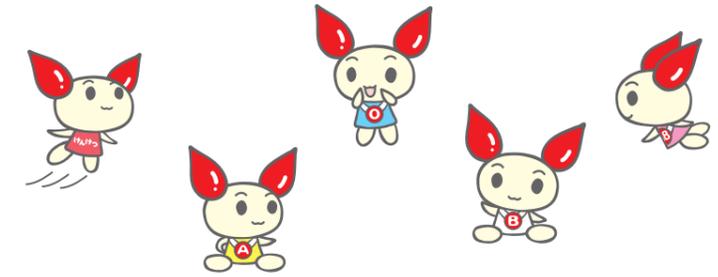
夏休み親子血液教室 2022

親子でいのちや健康、助けあいの大切さについて考え献血の必要性を学ぶ「夏休み親子血液教室」を開催しました。本教室は愛知県との共催で実施しており、小学校4～6年生とその保護者を対象に、瀬戸市にある血液センターと豊橋市にある豊橋事業所で、血液についての講義や血液センターの見学、希望する小学生を対象とした血液型判定などを行いました。また、令和3年度に引き続き、当日会場に来られない方もWeb上で献血について学べる特設サイト「動画でみる 夏休み親子血液教室 2022」を、ホームページ上に開設しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響による休止を経て3年ぶりの開催となりましたが、実施期間中170名を超える親子に参加していただきました。



年少者を対象とした普及啓発

幼少期から献血に触れ「献血は身近なボランティア」であることを知っていただくため、ショッピングモール等で開催される子ども向け健康増進イベントや地域防災イベントに参加しました。親子一緒に楽しめるパネル展示や、献血キャラクター「けんけつちゃん」とのふれあい等を通じて、血液や輸血、献血について正しい知識の普及啓発を行いました。



キャンペーンイベントの開催

様々なキャンペーンや献血啓発イベントを開催し、広く国民の皆さまに対して、献血の普及啓発を行っています。若年層への普及活動の一環として、各関係機関の協力のもと、7～9月に「10代夏の献血キャンペーン」、1～3月に「卒業献血キャンペーン」を行い、学生の献血参加意識の向上を推進しました。愛知県学生献血連盟 Aichi-Go の学生ボランティアが中心となり、献血者が減少する時期にあわせ、毎年8月に「東海北陸ブロック学生サマー献血キャンペーン」、12月に「全国学生クリスマス献血キャンペーン」、3月に「愛知県学生スプリング献血キャンペーン」を開催し、各大学・専門学校サークルによる歌や演奏など楽しいステージイベントを通して、献血へのご協力を呼びかけました。令和5年2月には「はたちの献血キャンペーン in オアシス 21」を開催し、献血実施と併せて、プロバスケットボールチーム 名古屋ダイヤモンドドルフィンズ公式チアリーダーズによるステージやインフルエンサーによるトークショー・献血クイズなどで献血啓発を盛り上げました。また、毎年恒例の8月と1月に実施する「官庁街献血」においては、本年度も多くの方に献血のご協力をいただきました。近年は「SNS キャンペーン」を通して公式 SNS の認知度を高め、献血に関する情報をより多くの方に発信できるよう取り組んでいます。



全国学生クリスマス献血キャンペーン



夏の官庁街献血

10代夏の献血キャンペーン

卒業献血キャンペーン

ひろげよう献血 SNS キャンペーン

献血 Web 会員サービス「ラブラッド」 Blood donation web membership service

患者さんが安心して治療を受けられるよう、安定的に血液製剤を供給するためには、献血血液をいつでも十分に確保しておく必要があります。日本赤十字社では、継続的に献血にご協力をいただける方を募集するため、平成 18 年に「複数回献血クラブ」を設立しました。

平成 30 年から献血者へのサービス向上を目的として、「複数回献血クラブ」から献血 Web 会員サービス「ラブラッド」へとリニューアルを行い、全国の献血ルームや献血バス（一部の会場）において Web 予約ができるほか、血液検査結果が献血後 2～5 日程度で確認できるようになりました。また、キャンペーン情報、次回献血可能日などのお知らせが届くほか、予約や献血への協力で貯めたポイントを記念品と交換することができます。さらに、会員サイト上では次回献血可能日の確認、住所等の変更も行え、献血に協力した人、献血に助けられた人のメッセージ「ラブラッドな声」をお届けしています。

令和 4 年 9 月にラブラッドアプリをリリースし、「アプリ版献血カード」や「事前 web 問診回答機能」の導入、「プレ会員」の登録等を開始し、より便利になりました。

愛知県の献血 Web 会員サービス「ラブラッド」登録状況（新規）

令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
35,482 人	31,888 人	31,548 人

献血 Web 会員サービス「ラブラッド」登録状況（累計）



献血Web会員サービス「ラブラッド」会員限定キャンペーン

献血 Web 会員サービス「ラブラッド」会員限定のキャンペーンを定期的に行っております。

キャンペーン実施内容

実施年月日	令和 5 年 3 月 13 日～4 月 23 日
実施内容	スプリング 400mL 献血キャンペーン

予約献血のお願い

日々必要な血液を安定的に確保するため、そして献血される方が一時期に集中することによる密を避けるため、事前のご予約をお願いしています。

献血の予約方法

- 献血Web会員サービス「ラブラッド」アプリやWebサイトからの予約
- 各献血ルームへのお電話での予約

Web 上で各献血会場の時間帯別、献血種類別の予約状況が確認できる「ラブラッド」での予約がオススメです！



2 コロナ禍における対応

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、さらに徹底した対策を行い、安全な献血会場の運営に取り組んでいます。



献血会場では、検温や手指消毒の実施と事前予約を献血者にお願ひし、密を避けるようご協力をお願いしています。

実際の様子



職員及び献血者は献血会場ではマスク着用（愛知県赤十字血液センター）



各所に消毒液を設置（献血ルーム ゲートタワー 26）



定期的に職員が消毒を実施（献血ルーム ゲートタワー 26）

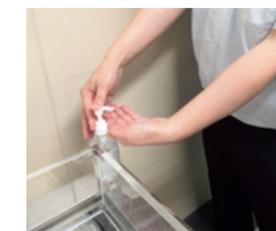


休憩スペースにも飛沫防止パネルを設置（岡崎献血ルーム）

医療機関への対応

血液製剤の供給時

医療機関に入館する際は、院内の訪問ルールに従うとともに、マスクを着用し、退館時は手洗い又は手指消毒を行う。配送業務帰着後は、手指消毒を徹底し、ハンドル等の手で触れた部分及び血液輸送容器の消毒を行う。



手指消毒の徹底



血液輸送容器の消毒

3 組織

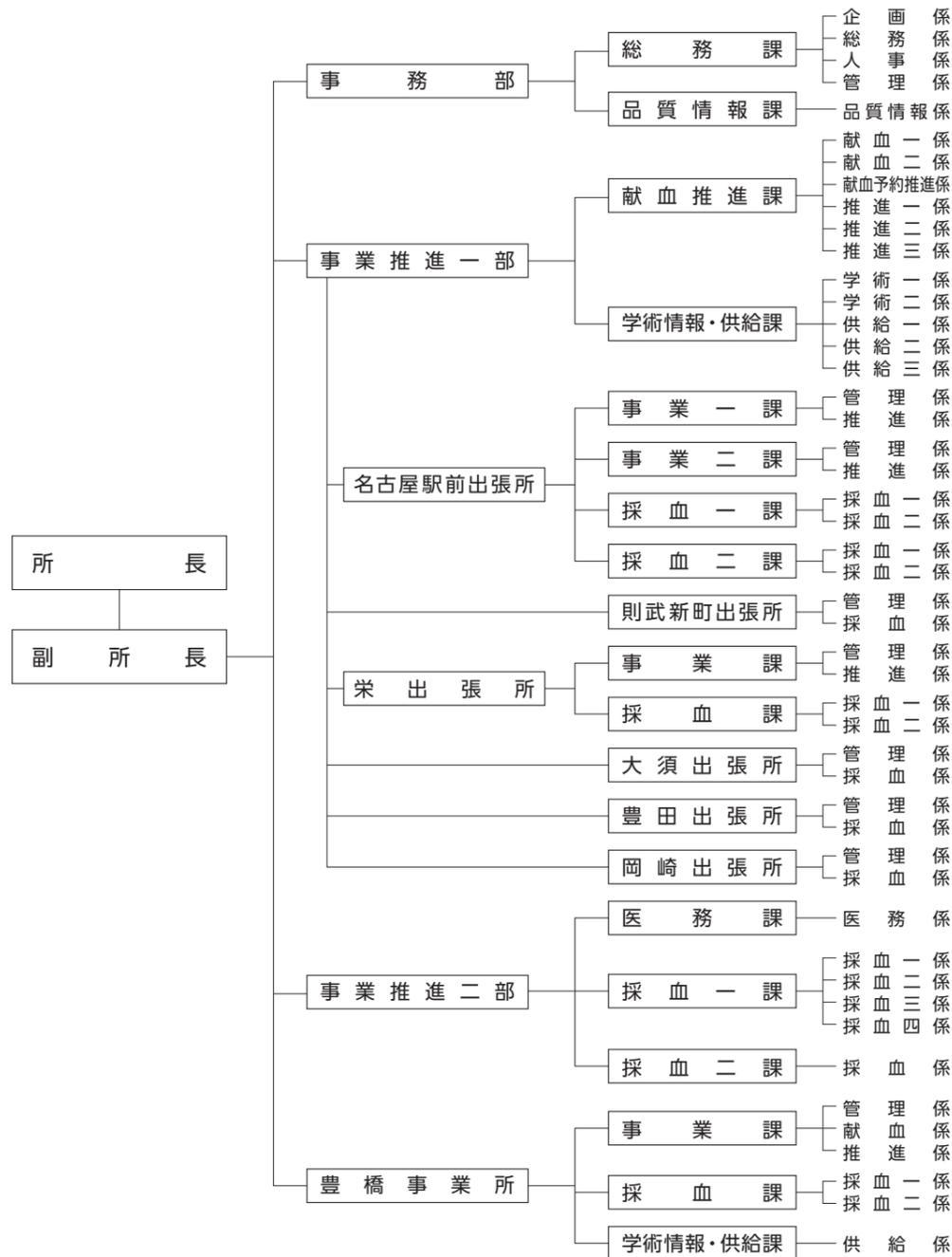
Organization

血液事業をより円滑に推進するためには、その体制づくりが重要なポイントになります。血液事業に直接関係する体制や施設・設備を充実するとともに、それをサポートする間接部門も重要視し、組織としての総合的な力を発揮しながら血液事業の現在と将来を常に見つめています。

組織機構図 Organization Chart

(令和 5 年 3 月 31 日現在)

愛知県赤十字血液センター



愛知県赤十字血液センター Japanese Red Cross Aichi Blood Center

施設 Facility

- [所在地] 瀬戸市南山口町 539 番地 3
- [敷地面積] 63,594.57㎡
- [建物] (本館・北館) 構造/鉄筋コンクリート一部鉄骨造
地上4階・塔屋1階
延面積/9,783.21㎡
- [付属建物] 大型車庫、合併処理槽機械室



車両台数 Number of Vehicle

献血バス	健診車	送迎車	広報車	献血運搬車	器材運搬車等	乗用車	計
8台	3台	4台	4台	28台	1台	12台	60台

(令和 5 年 3 月 31 日現在)

愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所 Japanese Red Cross Aichi Blood Center Toyohashi Branch

施設 Facility

- [所在地] 豊橋市東脇三丁目4番地1
- [敷地面積] 3,014.07㎡
- [建物] 構造/鉄筋コンクリート造
地上3階・塔屋1階
延面積/1,694.00㎡
- [付属建物] 車庫

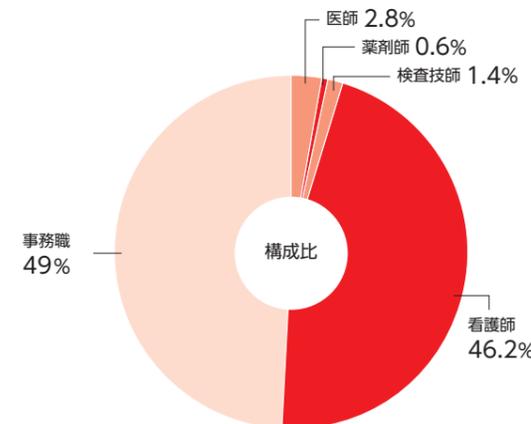


車両台数 Number of Vehicle

献血バス	健診車	送迎車	献血運搬車	乗用車	計
3台	1台	0台	5台	3台	12台

(令和 5 年 3 月 31 日現在)

愛知県赤十字血液センター職員数 Number of Staff



職種	人員	構成
医師	10人	2.8%
薬剤師	2人	0.6%
検査技師	5人	1.4%
看護師	163人	46.2%
事務職	173人	49%
計	353人	100%

* パートタイマー含む

4 活動実績

Actural Result

時代の変化とともに、血液事業も変化しています。

献血協力や医療機関のニーズに対応した活動を展開し、新しい歴史を積み重ねています。

新たな歴史を積み重ねて着実な歩み続ける

昭和 37 年の開設以来、輸血を必要とする患者さんのため時代とともに、着実な歩みが続けています。

沿革 History

	愛知の動き	全国の動き
1960	昭和37年 10月 名古屋第一赤十字病院内に愛知県赤十字血液銀行を開設	昭和27年 4月 日本赤十字社血液銀行東京業務所開設
	昭和39年 12月 愛知県赤十字血液センターと名称を改める	昭和31年 6月 「採血及び供血あっせん業取締法」公布
	昭和41年 6月 採血出張所を開設 (豊橋・岡崎・一宮・半田・瀬戸)	昭和35年 8月 「薬事法」公布
	昭和43年 1月 東海北陸7県(富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・愛知県・三重県)の調整センターとして保存血液の需給調整を開始	昭和39年 8月 「献血の推進について」閣議決定
	昭和43年 11月 豊橋採血出張所を廃止し、愛知県赤十字血液センターの支所として新社屋を建設(豊橋市橋良町)、愛知県豊橋赤十字血液センターを開設、業務開始	昭和44年 民間商業血液銀行の買血による輸血用血液の供給中止
昭和44年 8月 愛知県Rh(-)友の会を結成		
1970	昭和45年 4月 血液低比重者の諸検査開始	
	昭和46年 3月 日赤愛知県支部との合同庁舎(名古屋市中区三の丸)に移転、業務開始	
	昭和46年 4月 支所として運営されてきた愛知県豊橋赤十字血液センターが豊橋赤十字血液センターとして独立	
	昭和47年 3月 県内の預血業務が全廃され献血一本化となる	
	昭和48年 4月 名古屋市内及び尾張部について輸血用血液の直配開始	
	昭和49年 4月 血液代金自己負担金給付制度実施	昭和49年 民間商業血液銀行が預血制度廃止(献血100%体制確立)
	昭和52年 4月 一宮出張所を廃止し、移動採血車の定期巡回場所に改める	昭和50年 日本民間放送連盟主催「第1回はたちの献血」キャンペーン開始
	昭和54年 4月 採血が瓶採血からビニールバック採血に切り替わる	
昭和54年 11月 開設以来、献血者150万人達成		
1980	昭和57年 2月 分室を中区丸の内三丁目5番地10号(住友商事丸の内ビル9階)に新設	
	昭和57年 4月 全国一斉に献血手帳の様式一部改正(供給欄削除) 献血者全員に血液型及び生化学検査結果の通知を開始	
	昭和57年 6月 半田出張所を廃止し、移動採血車の定期巡回場所に改める	
	昭和59年 4月 東海北陸7県(富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県)の基幹センターとして輸血用血液の需給調整及び技術指導開始	昭和58年 6月 日本赤十字社血漿分画事業開始

	愛知の動き	全国の動き
1980	昭和61年 3月 事務所棟増築完成(豊橋赤十字血液センター)	
	昭和61年 4月 名古屋市中区錦三丁目22番14号(マルニシビル5階)に栄出張所(献血ルーム)を開設	
		愛知県学生献血連盟発足
	昭和61年 10月 東三河地域に血小板等の特殊血液のみ直配実施	昭和61年 4月 「採血及び供血あっせん業取締法」一部改正に伴う新採血基準採用(400mL、成分採血導入)
	昭和62年 1月 名古屋市熱田区一番に白鳥出張所(献血車基地)を開設	昭和61年 HIV抗体検査及びHTLV-I抗体検査を開始
	昭和62年 3月 瀬戸市南山口町に社屋新築移転、業務開始(愛知県赤十字血液センター)	
	昭和62年 4月 名古屋市中区三の丸旧社屋に三の丸出張所(献血ルーム)を開設	
	昭和62年 8月 西三河部への輸血用血液の直配開始	
	昭和62年 9月 第11回日本血液事業学会総会を愛知県勤労会館で開催	
	昭和63年 7月 輸血用血液の全面直配開始(豊橋赤十字血液センター)	
昭和63年 10月 名古屋市中区千種区星が丘元町1502番地(第一星ヶ丘ビル2階)に星ヶ丘出張所(献血ルーム)を開設		
平成元年 1月 愛知県内の献血者延500万人達成	平成元年 HbC抗体、HCV抗体検査開始	
1990	平成2年 3月 豊橋市東脇に社屋新築移転、業務開始(豊橋赤十字血液センター)	平成2年 民間製薬会社による有償採血中止
	平成2年 6月 名古屋市中区栄三丁目15番地33号(栄ガスビル9階)に栄出張所(献血ルーム)を移転開設	
	平成3年 3月 岡崎市康生通西2丁目20番地(シビコ5階)に岡崎出張所(献血ルーム)を開設	
	平成3年 12月 血液センター組織に地方骨髄データセンター設置	
	平成4年 6月 名古屋市中村区名駅四丁目26番地7号(名駅UFビル5階)に名古屋駅前出張所(献血ルーム)を開設	平成4年 1月 赤血球M・A・P「日赤」の製造承認許可
	平成4年 11月 赤血球M・A・P「日赤」の調整供給開始(愛知県赤十字血液センター)	
	平成5年 4月 赤血球M・A・P「日赤」の調整供給開始(豊橋赤十字血液センター)	平成5年 8月 「自己血輸血協力要綱」作成
	平成5年 10月 三の丸出張所を名古屋市中区白壁一丁目50番地(愛知県白壁庁舎内)に白壁出張所(献血ルーム)として移転開設	
	平成6年 1月 自己血輸血協力開始	
	平成6年 3月 愛知県内血液センター需給計画委員会設置	
平成6年 4月 輸血用血液への放射線照射協力開始(愛知県赤十字血液センター)		
平成6年 9月 輸血用血液への放射線照射協力開始(豊橋赤十字血液センター)		
平成7年 3月 第43回日本輸血学会総会を名古屋国際会議場で開催	平成7年 4月 献血表彰制度の一部改正と献血換算回数変更	
平成8年 10月 白壁出張所の検査部門を愛知県赤十字血液センターに集約	平成7年 7月 統一した献血申込書及び問診票導入	
平成9年 4月 東海北陸8県(富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県)の基幹センターとして、輸血用血液の需給調整及び技術指導開始		
	豊田市若宮町一丁目57番地1(A館T-FACE 9階)に豊田出張所(献血ルーム)を開設	
平成9年 7月 白壁出張所の供給部門を愛知県赤十字血液センターに集約		
平成9年 10月 白壁出張所の製造部門を愛知県赤十字血液センターに集約	平成10年 6月 放射線照射輸血用血液が国に認可され供給開始	

	愛知の動き	全国の動き		
1990	平成11年4月	県内血液センター一体運営開始。これに伴い、豊橋赤十字血液センターを愛知県豊橋赤十字血液センターに改称し、検査業務を愛知センターに集約	平成11年4月	血小板成分献血を除き、献血年齢の上限が満64歳から満69歳に引上げ
	平成11年8月	刈谷市南桜町一丁目73番地(OTAビル4階)に刈谷出張所(献血ルーム)を開設	平成11年5月	献血者情報の全国一元管理システムが稼働
	平成11年11月	名古屋市熱田区金山町1-202(東和ビル「メガネプラザビル」7階)に金山出張所(献血ルーム)を開設	平成11年10月	H T L V - I 抗体検査結果が異常な場合、希望者への通知を開始。これに伴い献血申込書の内容一部変更
2000	平成12年3月	愛知県赤十字血液センター本館増改築工事完成	平成14年4月	H C V 抗体陽性者への通知基準の変更
	平成13年2月	名古屋市市中村区名駅三丁目28番地12号(大名古屋ビルヂング3階)に名古屋駅前出張所(大名古屋ビル献血ルーム)を移転開設	平成14年7月	薬事法及び採血及び供血あつせん業取締法の一部を改正する法律の公布「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」(新血液法)公布
	平成13年9月	第25回日本血液事業学会総会を名古屋国際会議場で開催	平成14年8月	有償採血の禁止
	平成15年2月	愛知県内の献血者延1,000万人達成	平成15年7月	「薬事法」の一部改正及び「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」(新血液法)施行
	平成15年3月	星ヶ丘出張所(献血ルーム)閉所	平成16年1月	安全対策に対する日本赤十字社の取り組み(8項目)
	平成15年5月	岡崎市明大寺町寺東1-1(名鉄東岡崎駅南館5階)に岡崎出張所(献血ルーム)を移転開設	平成16年10月	献血受付時の本人確認実施開始
	平成16年6月	第二次全国統一システム稼働	平成17年4月	改正薬事法施行
	平成17年1月	新鮮凍結血漿貯留保管用冷凍室完成	平成17年6月	問診による欧州渡航歴の献血制限開始
	平成17年6月	愛知県赤十字血液センター献血推進本部設置	平成17年7月	6カ月以上貯留保管した新鮮凍結血漿「日赤」(FFP)の供給開始
	平成17年10月	白鳥出張所(献血バス基地)を閉所し、愛知県赤十字血液センターに移動採血部門を集約	平成18年3月	タッチパネル方式による問診回答方式の導入
	平成18年3月	愛知県豊橋赤十字血液センターの製造部門を愛知県赤十字血液センターに集約	平成18年8月	成分採血由来新鮮凍結血漿保存前白血球除去製剤製造開始
	平成18年9月	複数回献血クラブ「四季桜の会」の設立	平成18年9月	人免疫グロブリン製剤「日赤ポリグロビン」販売開始
	平成18年10月	白壁出張所(献血ルーム)の閉所	平成18年10月	成分採血由来新鮮凍結血漿保存前白血球除去製剤出庫開始
	平成18年10月	名古屋市中区大須三丁目30-40(大須万松寺ビル1階)に大須出張所(献血ルーム)を開設	平成19年1月	献血手帳の磁気カード化開始
	平成19年2月	岐阜県赤十字血液センターとの検査業務集約	平成19年11月	全血採血由来保存前白血球除去製剤製造開始
	平成19年5月	成分採血(血小板)の初流血除去開始	平成20年7月	血小板製剤の有効期間(採血後4日間)変更
	平成20年1月	静岡県赤十字血液センターとの検査業務集約	平成21年3月	初流血除去を実施した成分採血由来製剤新鮮凍結血漿「日赤」(FFP-5)の供給開始
平成20年6月	三重県赤十字血液センターとの検査業務集約	平成21年10月	糖尿病関連の検査(グリコアルブミン検査)開始	
平成20年8月	製剤ラベルの変更	平成22年10月	血漿分画製剤の販売名、包装表示等の変更	
平成21年4月	三重県赤十字血液センターとの製剤業務集約			
平成21年11月	第33回日本血液事業学会総会(第20回国際輸血学会アジア部会併設)を名古屋国際会議場で開催			
2010	平成22年5月	第58回日本輸血・細胞治療学会総会を名古屋国際会議場で開催	平成22年1月	英国滞在歴に関する献血制限の緩和
	平成23年10月	J R セントラルタワーズ 20 階に名古屋駅前出張所を移転開設	平成22年2月	販売名変更代替新規承認品目濃厚血小板-LR「日赤」・濃厚血小板 H L A - L R 「日赤」・照射濃厚血小板-LR「日赤」・照射濃厚血小板 H L A - L R 「日赤」の製造・供給開始
	平成23年11月	愛知県赤十字血液センター製造棟完成	平成22年12月	血液型、生化学検査及び血球計数検査成績の通知対象者の拡充
			平成23年4月	採血基準の改正(男性に限り400mL献血が可能な方の年齢の下限を、「18歳」から「17歳」に引き下げ。男性に限り血小板成分献血が可能な方の年齢の上限を、「54歳」から「69歳」に引き上げ)

	愛知の動き	全国の動き		
2010	平成24年3月	静岡県赤十字血液センターとの製剤業務集約	平成26年6月	血液事業情報システム導入
	平成24年4月	広域事業運営体制開始	平成26年8月	特殊製剤国内自給向上対策事業の実施
		製造棟施設が東海北陸ブロック血液センターとして業務開始		個別核酸増幅検査(NAT)の導入
		愛知県豊橋赤十字血液センターを愛知県赤十字血液センター豊橋出張所に改める	平成27年3月	日本赤十字社による血漿分画製剤の販売終了
	平成25年4月	県境を越える供給エリアの変更開始(岐阜県東濃地域↔愛知県西尾張地域)	平成28年4月	ALT検査による製品除外基準の変更
平成26年4月	豊橋出張所を豊橋事業所に改める	平成28年9月	照射洗浄血小板-LR「日赤」・照射洗浄血小板HLA-LR「日赤」の供給開始	
平成26年7月	第50回献血運動推進全国大会を愛知芸術文化センターで開催	平成30年9月	新鮮凍結血漿の融解後使用期限延長	
平成29年4月	金山出張所と刈谷出張所の閉所	平成30年10月	複数回献血クラブの会員サイトを一新し、愛称を「ラブラッド」に統一して運用開始	
2020	令和2年8月	愛知県内の献血者延1,500万人達成	令和2年8月	全国一斉にE型肝炎検査(HEV NAT)を導入
			令和2年9月	血液法改正に伴い健康診断及び問診の方法が定められ、健康診断基準として血圧、脈拍、体温基準の明示
			令和2年11月	全血採血の採血前検査方法を指先穿刺に変更 ※献血ルームは順次
				献血者顕彰規程を改正し、記念品贈呈を行う献血回数や記念品の選択制を導入
				問診における癌の問診判断基準を緩和
			令和3年5月	新型コロナウイルスの mRNA ワクチンを含む RNA ワクチンを接種された方の献血制限期間の明示
			令和3年9月	新型コロナウイルス感染症の既往者(または検査陽性者)についての献血制限期間の明示
	令和3年10月	名古屋市西区則武新町3-1-17(イオンモール Nagoya Noritake Garden 3階)に則武新町出張所(献血ルーム)を開設	令和3年11月	国民の健康増進に有益な情報として還元することを目的として、平成28年以降に採血された献血者に関する血液検査値の集計を行い、ホームページにおいて情報公開を開始
				H T L V - 1 と梅毒の偽陽性の方への通知を開始
			令和4年2月	献血ルームを含め全ての施設で全血献血の採血前検査を指先穿刺に変更
		令和4年4月	新型コロナウイルスのウイルスベクターワクチンを接種された方の献血制限期間の明示	
		令和4年7月	NAT 偽陽性の方への通知を開始	
		令和4年11月	エムボックスウイルス感染症に対する安全対策として、感染された方等からの献血制限を実施	
		令和4年12月	新型コロナウイルスの組み換えたんぱく質ワクチン及び不活化ワクチン等を接種された方の献血制限期間の明示	
			赤血球製剤の有効期間を「採血後21日間」から「採血後28日間」に延長する承認を取得(令和5年3月15日供給分から適用開始)	

血液事業に多くの功績があった個人・団体を表彰

毎年献血に多大なご協力をいただいたみなさまに感謝の気持ちを込めて表彰を行っています。
令和4年度も多くの個人・団体のみなさまにご協力をいただき、功労表彰を授与させていただきました。
血液事業は、こうした多くの方々に支えられています。

献血功労表彰 Recognition

厚生労働大臣表彰状

4 団体

株式会社川本製作所 岡崎工場
江南市職員献血グループ
日立チャンネルソリューションズ株式会社
三菱重工業株式会社
名古屋航空宇宙システム製作所

厚生労働大臣感謝状

11 団体

一宮中ライオンズクラブ
オーエスジー株式会社 大池工場
尾張旭市役所
鹿島建設株式会社 中部支店
株式会社トンボ鉛筆 生産開発センター
株式会社テクノ菱和 名古屋支店
津田工業株式会社 豊川工場
名古屋名東ライオンズクラブ
橋本電機工業株式会社
南医療生活協同組合 総合病院
南生協病院
日本赤十字社
愛知医療センター名古屋第二病院

愛知県知事感謝状

300 回献血者 47 名

献血協力団体 25 団体

愛知学院大学 名城公園キャンパス
愛知製鋼株式会社献血会
一般社団法人 生命保険協会 愛知県協会
医療法人研精会 豊田西病院
岡崎石工団地青年経営者協議会
NTPグループ
株式会社トヨタレンタリース名古屋

瀧上工業株式会社
武豊町役場
東海市職員互助会
東レ株式会社 岡崎工場
常滑市職員互助会
トピー工業株式会社 豊橋製造所
豊川市青年団協議会
日本車輛製造株式会社 豊川製作所
半田市職員互助会献血グループ
東浦町役場
ファイザー・ファーマ株式会社
フタバ産業株式会社 知立工場
碧南市健康を守る会
碧南市民献血グループ
前田建設工業株式会社 中部支店
三井住友信託銀行株式会社
南知多町役場
美浜町役場
名鉄バス株式会社 一宮営業所
陸上自衛隊豊川駐屯地

献血功労団体 2 団体

アピタパワー新守山店
はじめの一歩（若年層に献血を勧める会）

日本赤十字社表彰

日本赤十字社社長感謝状（30 年以上）
26 団体

愛知県厚生農業協同組合連合会 渥美病院
愛知県新城警察署
公益社団法人地域医療振興協会
あま市民病院
犬山市役所
医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院
春日井市役所

春日井市民病院
トヨタ名古屋自動車大学校
株式会社豊田中央研究所
小牧市民病院
ゴムノイナキ株式会社
医療法人済衆館 済衆館病院
津島市職員組合
西武ポリマ化成株式会社 名古屋工場
瀬戸市役所
高浜市役所
中部電力労働組合名古屋総支部
北営業所支部
東海ライオンズクラブ
常滑ライオンズクラブ
名古屋ウエストライオンズクラブ
名古屋中村ライオンズクラブ
西三河農業協同組合
日本ペイント・オートモーティブコーティングス株式会社 愛知高浜工場
半田市赤十字奉仕団
扶桑町献血推進協議会
碧南ライオンズクラブ

金色有功章（献血 100 回以上）391 名

金色有功章（20 年以上）19 団体

愛知県住宅供給公社
愛知県信用農業協同組合連合会
株式会社エフエスケー
株式会社エバ
株式会社近藤組
株式会社サンゲツ
株式会社スズキ自販東海
株式会社ホンダカーズ蒲郡
株式会社明電舎 中部支社
株式会社LIXIL 知多工場

株式会社友和製作所
中部電力労働組合名古屋総支部
一宮営業所支部
東海カーボン株式会社 知多工場
丸茂工業株式会社
三浦電気株式会社
稲沢ライオンズクラブ
知多ライオンズクラブ
美浜ライオンズクラブ
ユニー株式会社 テラスウォーク一宮

銀色有功章（献血 70 回以上）617 名

銀色有功章（15 年以上）15 団体

一般社団法人半田市医師会
健康管理センター
岩倉市役所
株式会社愛知ニコン
株式会社東芝 中部支社
株式会社平松食品
中部電力労働組合名古屋総支部
中村電力センター支部
東久株式会社 犬山工場
トヨタ紡織株式会社 刈谷工場
中北薬品株式会社
名古屋国税局

成田山名古屋別院大聖寺
半田信用金庫
阿久比町献血推進協議会
イオンリテール株式会社 イオン南陽店
半田ライオンズクラブ

支部長感謝状（金枠 10 年以上）
11 団体

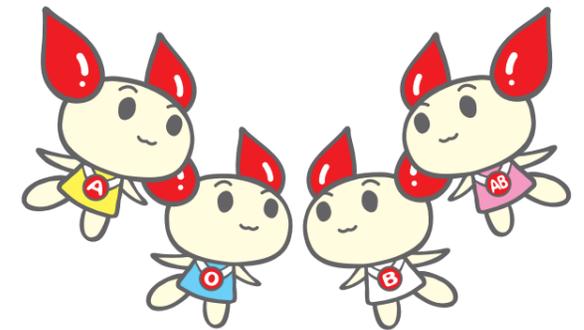
愛知県中央信用組合
アフラック東海法人アソシエイツ会
医療法人 積善会
株式会社首藤鉄工所
株式会社マキノ
ジャニス工業株式会社
知多南部消防組合
南山大学アメリカンフットボール部
ウイングタウン
豊田シニアライオンズクラブ
藤が丘中央商店街振興組合

支部長感謝状（銀枠 5 年以上）
19 団体

イズミ工業株式会社
医療法人清水会 相生山病院
SMBCファイナンスサービス株式会社

オーキス・ジャパン株式会社
オムロン株式会社
株式会社岡島パイプ製作所
株式会社近藤製作所 幸田工場
株式会社シーヴィテック
株式会社大気社中部支店
公立西知多看護専門学校
日本ペイント・オートモーティブコーティングス株式会社 愛知武豊工場
布袋病院
株式会社イトーヨーカ堂知多店
一宮サウスライオンズクラブ
イオンモールナゴヤドーム前
株式会社パロー
スーパーストアパロー戸田店
ユニー株式会社 ピアゴ阿久比北店
全トヨタ労働組合連合会 愛知地方協議会
一宮市千秋町連区町会長会

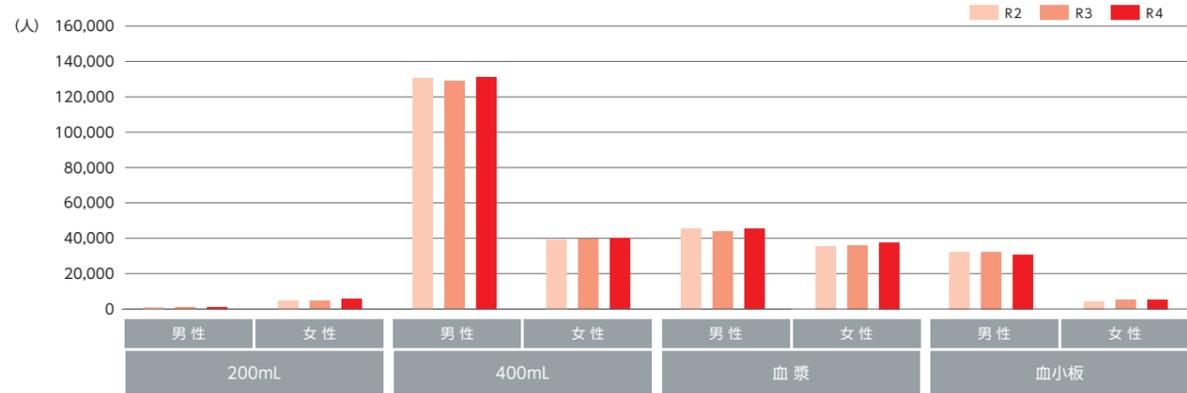
（順不同・敬称略）



献血種別の推移 Blood Donation Type of Transition

	200mL		400mL		血漿		血小板		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
令和4年度	1,479	5,841	131,280	40,164	45,467	37,607	30,777	5,675	209,003	89,287
令和3年度	1,236	4,956	129,205	39,827	43,949	36,032	32,303	5,224	206,693	86,039
令和2年度	1,346	5,165	130,721	39,431	45,685	35,619	32,649	4,635	210,401	84,850

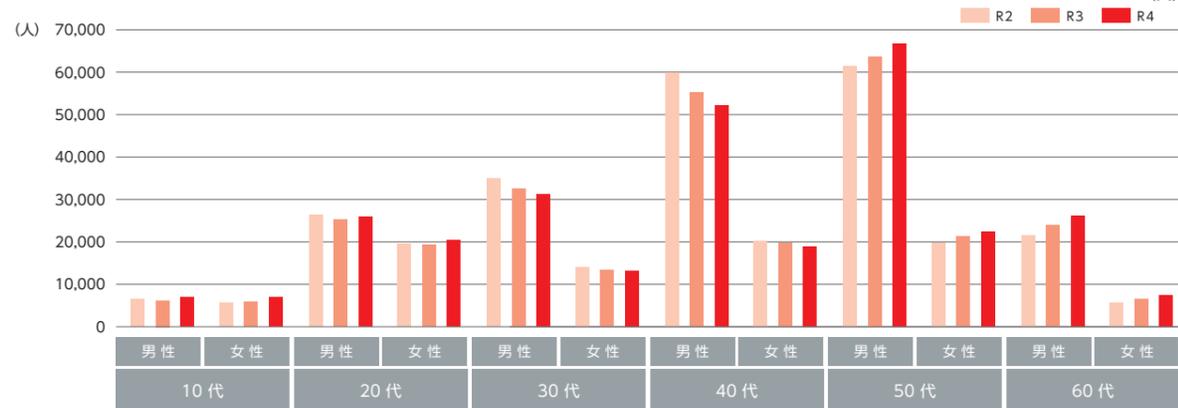
(人)



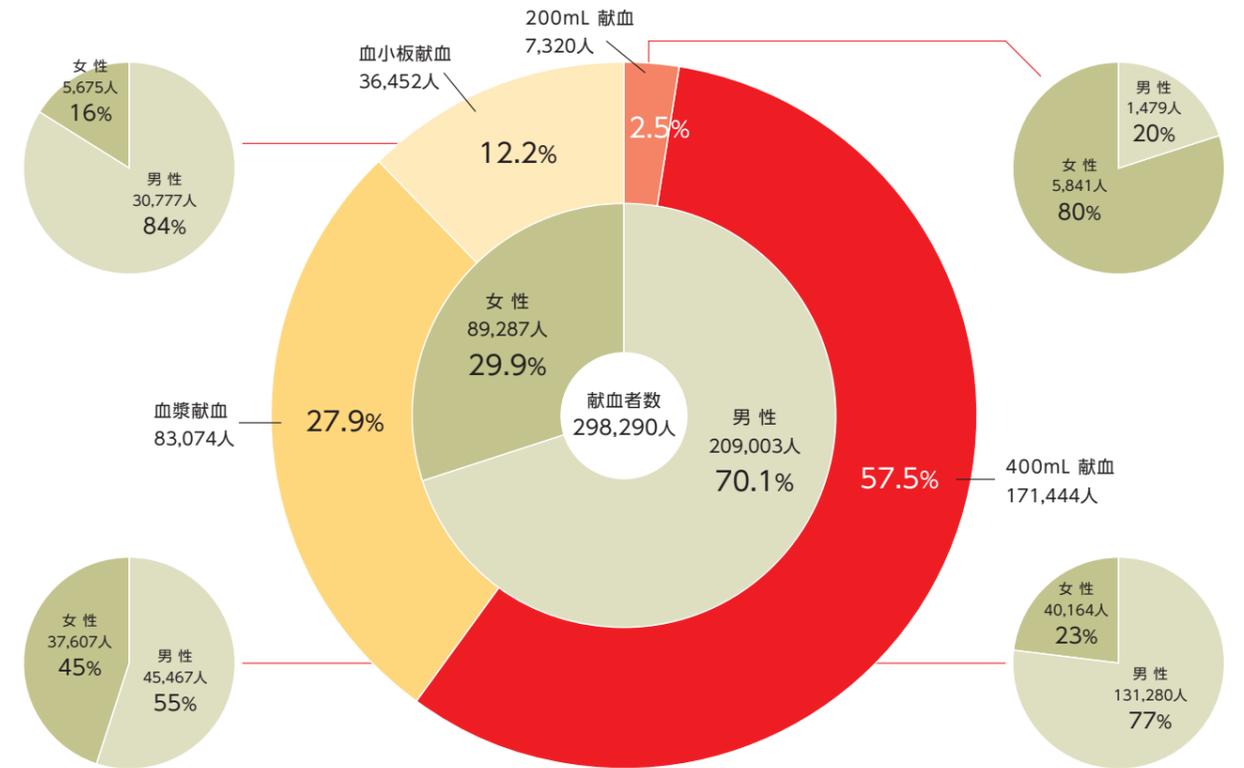
性別及び年代別 Transition by Age

	10代		20代		30代		40代		50代		60代		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
令和4年度	7,051	6,934	25,869	20,362	31,153	13,147	52,075	18,902	66,640	22,453	26,215	7,489	209,003	89,287
令和3年度	6,180	5,879	25,254	19,264	32,531	13,440	55,200	19,634	63,637	21,327	23,891	6,495	206,693	86,039
令和2年度	6,595	5,708	26,287	19,457	34,885	14,083	59,802	20,265	61,305	19,799	21,527	5,538	210,401	84,850

(人)

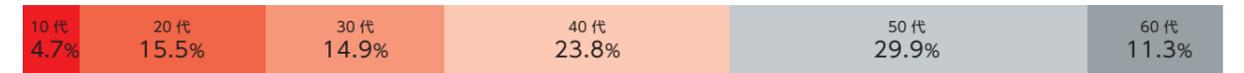


献血種別献血者数 Blood Donation Type Number of Blood Donors

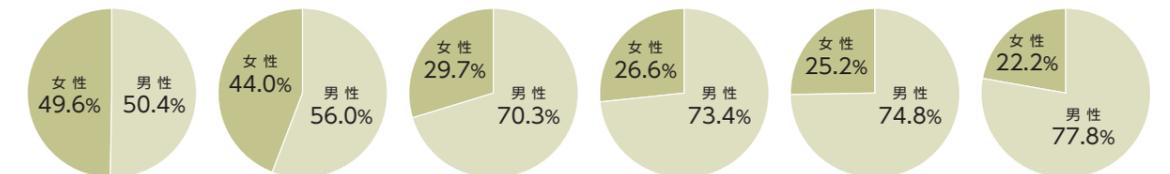


(注) 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない。

年代別献血者数 Donations by Age Group

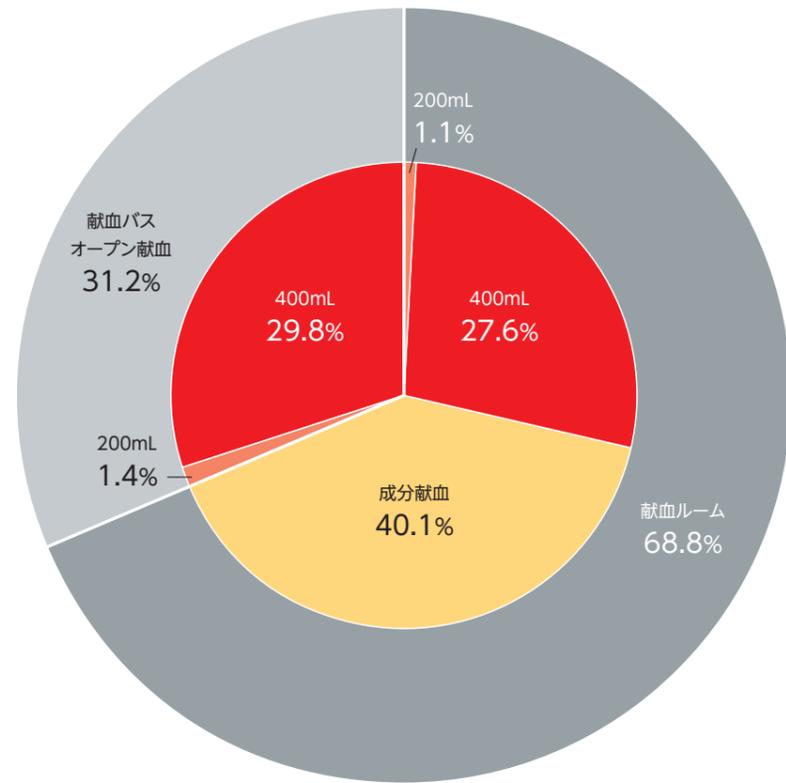


性別	10代		20代		30代		40代		50代		60代	
	200mL	400mL	200mL	400mL	200mL	400mL	200mL	400mL	200mL	400mL	200mL	400mL
男性	1,081	4,977	170	19,110	59	21,358	55	32,362	76	38,859	38	14,614
	675	675	3,978	3,978	5,693	5,693	11,379	11,379	16,714	16,714	7,028	7,028
	318	318	2,611	2,611	4,043	4,043	8,279	8,279	10,991	10,991	4,535	4,535
	7,051	7,051	25,869	25,869	31,153	31,153	52,075	52,075	66,640	66,640	26,215	26,215



性別	10代		20代		30代		40代		50代		60代	
	200mL	400mL	200mL	400mL	200mL	400mL	200mL	400mL	200mL	400mL	200mL	400mL
女性	2,844	2,077	1,130	9,049	451	6,038	618	8,506	657	11,052	141	3,442
	1,815	1,815	8,922	8,922	5,460	5,460	7,851	7,851	9,653	9,653	3,906	3,906
	198	198	1,261	1,261	1,198	1,198	1,927	1,927	1,091	1,091	0	0
	6,934	6,934	20,362	20,362	13,147	13,147	18,902	18,902	22,453	22,453	7,489	7,489

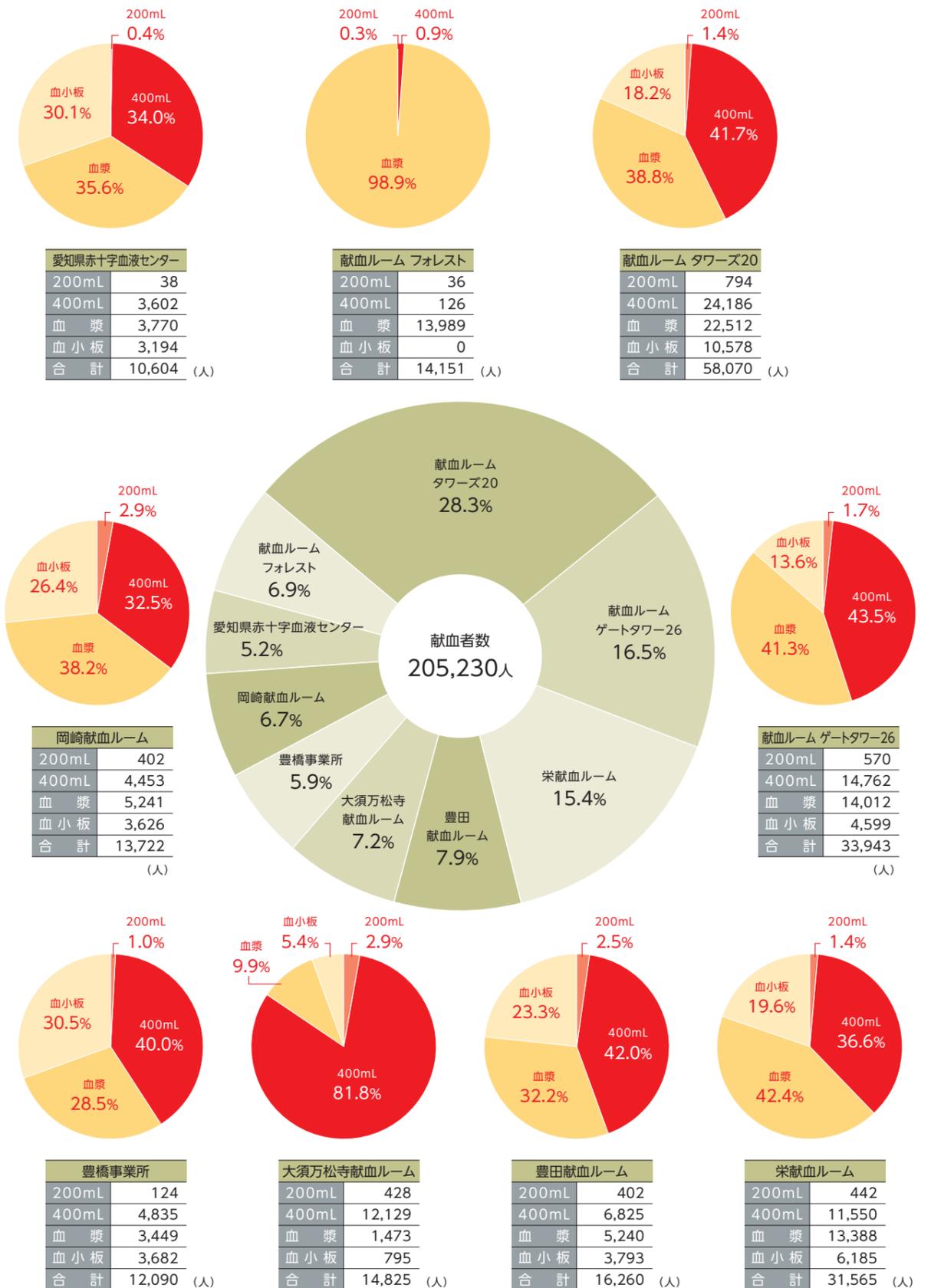
献血ルーム&献血バス・オープン献血の割合 Blood Donation Room & Bloodmobile Open Blood Donation Percentage



施設別採血種別献血者数の推移 Changes in the Number of Blood Donors by Site

献血種別	年度	愛知県赤十字血液センター	豊橋事業所	献血ルーム タワーズ20	献血ルーム ゲートタワー26	栄献血ルーム	献血ルーム フォレスト	大須万松寺 献血ルーム	豊田 献血ルーム	岡崎 献血ルーム	移動 献血バス+オープン
		200mL	令和4年度	38	124	794	570	442	36	428	402
	令和3年度	47	141	618	543	460	21	449	270	320	3,323
	令和2年度	77	197	688	472	614		482	243	178	3,560
400mL	令和4年度	3,602	4,835	24,186	14,762	11,550	126	12,129	6,825	4,453	88,976
	令和3年度	3,744	4,809	21,844	13,971	11,945	352	12,470	6,275	4,346	89,276
	令和2年度	3,798	5,538	21,578	12,894	11,673		13,416	5,992	4,427	90,836
血漿	令和4年度	3,770	3,449	22,512	14,012	13,388	13,989	1,473	5,240	5,241	0
	令和3年度	4,619	4,695	23,450	15,293	14,710	4,982	1,250	5,684	5,298	0
	令和2年度	5,570	5,482	24,138	16,609	15,767		1,566	6,359	5,813	0
血小板	令和4年度	3,194	3,682	10,578	4,599	6,185	0	795	3,793	3,626	0
	令和3年度	3,028	3,814	10,468	4,726	6,247	0	1,156	4,087	4,001	0
	令和2年度	2,746	4,058	9,862	5,153	6,293		862	4,028	4,282	0
合計	令和4年度	10,604	12,090	58,070	33,943	31,565	14,151	14,825	16,260	13,722	93,060
	令和3年度	11,438	13,459	56,380	34,533	33,362	5,355	15,325	16,316	13,965	92,599
	令和2年度	12,191	15,275	56,266	35,128	34,347		16,326	16,622	14,700	94,396

献血ルーム別献血者数 Number of Blood Donors by Blood Donation Rooms

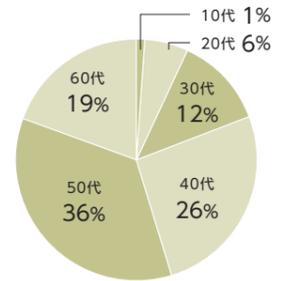


(注) 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない。

献血ルーム別年代別献血者数 Number of Blood Donors by Age

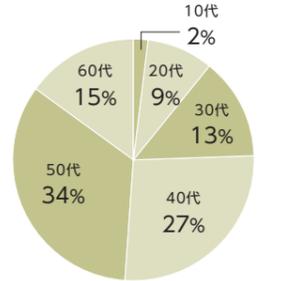
愛知県赤十字血液センター

10代	124	40代	2,766
20代	631	50代	3,742
30代	1,303	60代	2,038
合計	10,604		



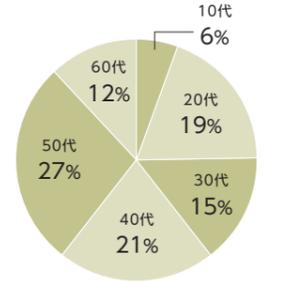
豊橋事業所

10代	246	40代	3,246
20代	1,075	50代	4,082
30代	1,639	60代	1,802
合計	12,090		



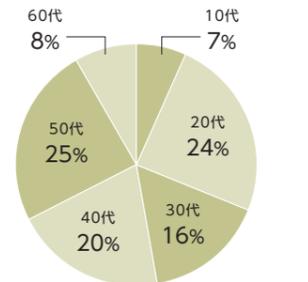
献血ルーム タワーズ20

10代	3,275	40代	12,299
20代	11,196	50代	15,943
30代	8,466	60代	6,891
合計	58,070		



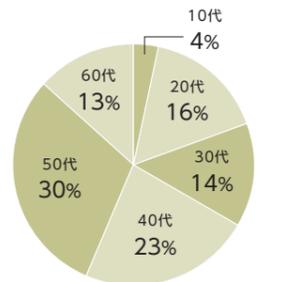
献血ルーム ゲートタワー26

10代	2,350	40代	6,877
20代	8,259	50代	8,267
30代	5,453	60代	2,737
合計	33,943		



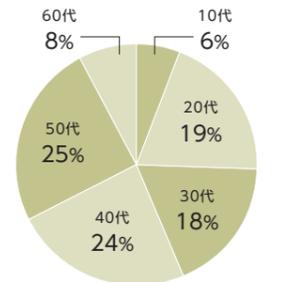
栄献血ルーム

10代	1,094	40代	7,281
20代	5,052	50代	9,557
30代	4,455	60代	4,126
合計	31,565		



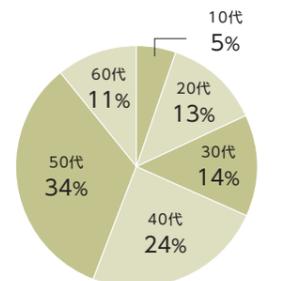
大須万松寺献血ルーム

10代	893	40代	3,535
20代	2,897	50代	3,655
30代	2,707	60代	1,138
合計	14,825		



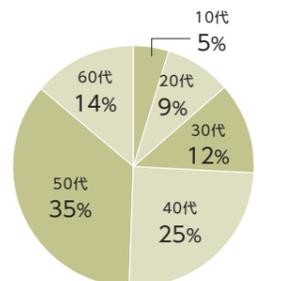
豊田献血ルーム

10代	871	40代	3,905
20代	2,091	50代	5,447
30代	2,225	60代	1,721
合計	16,260		



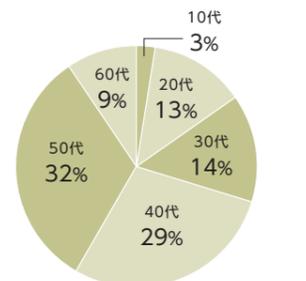
岡崎献血ルーム

10代	664	40代	3,420
20代	1,214	50代	4,868
30代	1,673	60代	1,883
合計	13,722		



献血ルーム フォレスト

10代	369	40代	4,055
20代	1,829	50代	4,562
30代	2,010	60代	1,326
合計	14,151		

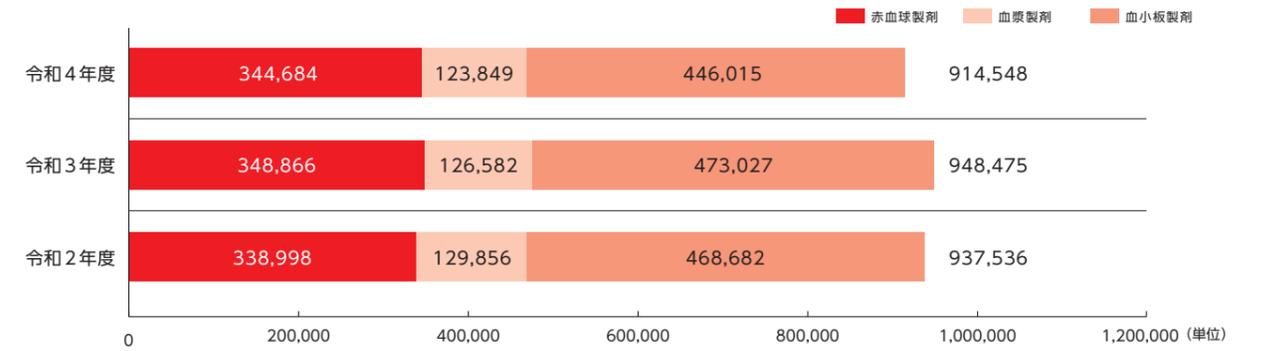


(注) 構成比は小数点以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100とはならない。

供給状況 Number of Distribution of Blood Products

供給単位の推移 (愛知県)

	赤血球製剤	血漿製剤	血小板製剤	合計
令和4年度	344,684	123,849	446,015	914,548
令和3年度	348,866	126,582	473,027	948,475
令和2年度	338,998	129,856	468,682	937,536



Business Overview

JAPANESE RED CROSS AICHI BLOOD CENTER

[発行所]

愛知県赤十字血液センター

〒489-8555 愛知県瀬戸市南山口町539-3 TEL 0561-84-1131

JAPANESE RED CROSS AICHI BLOOD CENTER

539-3 Minamiyamaguchi-cho Seto, AICHI JAPAN zip489-8555

<https://www.bs.jrc.or.jp/tkhr/aichi/>



環境にやさしい用紙と
植物油インキを使用しています。

令和5年8月31日発行